

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業				シート番号	011-174	
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進	課 評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	地方独立行政法人法第85条等			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成24年4月から地方独立行政法人堺市立病院機構に経営主体を移行した堺市立総合医療センターに対して、地方独立行政法人法等に基づき、政策医療、不採算医療の実施に係る経費を支出する必要があるため。また、地方独立行政法人堺市立病院機構が行う業務について、市として中期目標を定め、その実績や達成度を評価する評価委員会を開催する必要があるため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 (()) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 (())				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	地方独立行政法人堺市立病院機構				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市立総合医療センターが、救急医療、小児周産期医療等の政策医療や不採算医療を安定的に提供することにより、公的使命を継続して果たすことで、市民の健康の維持及び増進に寄与する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	救急医療、小児周産期医療、感染医療等の政策医療、不採算医療の実施に係る経費について、地方独立行政法人法に基づき堺市立病院機構(35診療科・487床)に負担金を支出する。また、評価基準等の検討を行うため地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会を開催する。医療機器を購入、更新する経費の一部を法人に貸し付ける。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (()) 地方独立行政法人堺市立病院機構					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	2,450,214	2,199,441	3,954,603	3,883,031	3,240,136	2,529,107	2,975,313
	主な事業費内訳								
	堺市立病院機構運営費負担金等	千円	2,448,439	2,196,327	3,951,967	3,882,126	3,236,720	2,528,580	2,973,885
	評価委員会運営経費	千円	71	189	336	70	416	192	428
	堺市立総合医療センター指定寄付金負担金	千円	1,500	2,925	2,000	835	3,000	335	1,000
	財源内訳								
	国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円	200,000		1,530,000	1,530,000	800,000	99,500	420,000	
その他(指定寄付金)	千円	1,500	2,925	2,000	835	3,000	335	1,000	
一般財源	千円	2,248,714	2,196,516	2,422,603	2,352,196	2,437,136	2,429,272	2,554,313	
12	人件費 (b)	千円	17,080	17,080	17,080	17,080	16,880	16,880	17,100
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,467,294	2,216,521	3,971,683	3,900,111	3,257,016	2,545,987	2,992,413

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業	シート番号	011-174
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>堺市立総合医療センターが、救急医療、小児周産期医療、感染症医療等の政策医療や不採算医療を安定的に提供するために、当該医療の実施に係る経費について、地方独立行政法人法に基づき適切に地方独立行政法人堺市立病院機構に負担金として、2,429,080千円を支出した。また、総務省に起債の申請を行い、その承認を受けて起債を執行し、医療機器を購入、更新する経費の一部として、99,500千円を当該法人に貸し付けた。 地方独立行政法人法に基づき、設立団体として地方独立行政法人堺市立病院機構の業務実績評価、中期目標の策定及び中期計画の認可を行うため、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会を5回開催し、評価委員会の意見聴取を行ったうえで、評価等を実施し議会に報告及び提案を行った。</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		救急搬送応需率	項目	目標値	70.0	70.0	70.0	79.0
				実績値	75.7	78.0	78.6	
				達成率	108%	111%	112%	
	評価	良い	良い	良い				
	算出方法・設定根拠など		堺市立総合医療センターによる救急搬送応需率					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		回	目標値					
			実績値					
			達成率					
	評価							

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	延患者数	人	377,549	391,431	415,382
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,213,107	2,368,906	2,445,960
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,862	6,052	5,889
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>地方独立行政法人堺市立病院機構は、引き続き救命救急センターを運営し、安定的な救急医療体制の維持に貢献したことに加え、地域がん診療拠点病院として高度医療を提供するなど、政策医療、不採算医療の提供を行っており、適切に負担金を支出できていると言える。 評価委員会の運営にあたっては、予定していた平成30年度業務実績評価に係る意見聴取を実施したうえで、評価を実施し、適切に評価結果を議会に報告することができた。評価結果としても、1つの大項目でB評価があったものの、3つの大項目がA評価という結果であった。また、中期目標の策定及び中期計画の認可を行うにあたっては評価委員会を開催し、意見聴取を実施した上で、議会に提案することができた。以上の理由から、事業の目標は達成できたと評価する。 なお、本事業については、市民の生命を守るため恒久的に政策医療、不採算医療を提供するための事業であり、本市にとって重要な事業であるため有効性は高いと評価する。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業	シート番号	011-174
-------	----------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 堺市立総合医療センターにおいて、救急医療、小児周産期医療等の政策医療或不採算医療を安定的に提供するために、当該医療の実施に係る経費について、地方独立行政法人法に基づき適切に地方独立行政法人堺市立病院機構に負担金を支出する必要があるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 同上 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 同上
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 評価委員会の運営については、委員への事前説明をオンラインで実施し、委員会の会場においても換気・消毒等の感染予防対策を講じている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明

25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	所見	市民の安全、安心な暮らしを守るため、救急医療、小児周産期医療等の政策医療或不採算医療を安定的かつ恒久的に提供し続ける必要があり、そのためには堺市立総合医療センターを運営している地方独立行政法人堺市立病院機構の安定的経営が必要不可欠である。本事業によって、地方独立行政法人堺市立病院機構の業務実績について評価委員会の意見をいただき客観的に評価するとともに、法人と協力して、引き続き市内医療提供体制における公的使命を果たす。	